

他人の家に入ることが初めてなので緊張している様子。

このトラックでは好き好きといちゃいちゃセックスをします。

距離感是最初から近めでお願ひします。

SD:ドア開閉音

【位置:やや右 距離:中】

……えっと。

お邪魔します……。

(気まずそうに部屋を見回しながら)

……。

きれいですね、先輩のお部屋。

男の人の部屋って、もつとこう、足場も無いようなイメージでした。

……まあ、異性のお家にお邪魔することなんて初めてなので、イメージでしかないですけど……。

あはは……。

思ったより気まずいんですね……。

こうやってお邪魔するの……。

……だってほら。

その本棚とか、ポスターとか……。

先輩がいつもどんな生活してるのかが分かって、

視線が散らかってしまみたいな……。

えっと……。

ベッド座ってもいいですか……？  
……ん、ありがとうございます。

SE:ヒロインがベッドに座る

(少し気の抜けた声でゆっくり)

これ、ふかふかで気持ちいいです。  
それに、少しあったかい……。

(主人公を見つめあたたかそうに)

いつもこのベッドで寝てるんですね。

ふふっ。

なんか、先輩の寝顔を想像したらおもしろいです。

いつもの気持ちよさそうな顔で寝てるんでしょうね、きっと。  
涎を垂らして、すうはあって……。

んふ、なんか落ち着いてきました。

あ、先輩も来てください。

私だけ……なの、申し訳ないので。

……はい、どうぞ。

SE:主人公がベッドに座る

【位置:中 距離:近】

(あたたかそうにゆっくり)

今日はその、ありがとうございます。  
私のお願いきいてもらって。

先輩のこと、もっと教えてほしいって。  
不思議ですか……？

(自嘲するような笑い)

……はは、ですね。

多分、納得したかったのかもしれないです。

……です。

どうして先輩と……

あの頃は意識してなかったのに今はこうしているのか……。  
それに、このおかしな関係も。

……いえ、別に。

まあ信頼はしてますけどね。

(心の声が少し出たような声で、自分の感情を知らない風の主人公を見て)

むしろなんだかムカムカしちゃって……。

……えっと。

とにかく、そういうのが不思議で、

先輩のことを知れば、ある程度納得できるんじゃないかなと……。

(一呼吸つく)

……。

……あ、あの本。

もしかしてこの前の映画のですか？

(同じことを思ってたのを嬉しく)

んふ、私も読もうかと思ってました。

途中からはもう、何も見てなかったですもんね。

これ、少しだけ借りてもいいですか？

先輩が気になったものは私も興味あるので……。

……ありがとうございます。

じゃああとでお借りしますね。

(ベッドの上においた手に被せるように手を置きながら)

……ね、先輩。

キス、しますか？

ふふっ、そんな驚いた顔。

あの時は先輩から無理やりしてきたのに。

だってほら、キスが好きって言ってたじゃないですか。

だから好きなもの、教えてもらおうかなと。

やっぱり、やめときます？

んふ、いいですよ。

じゃ、こっち来てください。

(キスの体勢に)

【位置：中 距離：密着】

……はい。失礼しますね。

(ゆっくり舌を入れ合いながらのキス)

んっ……。

んちゅっ、ちゅっ、ちゅっ、えろ、えろえろ……えろえろ、ちゅうっ……。

ちゅっ、ちゅうつ……。

ふう……。

してしましたね……。

先輩の舌、私の中に入ってきて……。

ふふっ、あったかいです。、

(ゆっくり舌を入れ合いながらのキス)

んっ……。

んちゅっ、ちゅっ、んちゅうつ、ちゅうつ……。

えろえろ……えろ……。

ふう、はあ……。

んっ……。

おっきな手、腰に回されてます……。

優しいのに、力強い男の人の身体……。

いいですよっと、好きなようにしてもらって……。

(唾液を交換するようなキス)

んっ……。

ちゅっ、んちゅっ、んちゅうつ、ちゅっ……。

えろえろ、えろ……えろ、えろ、ちゅうつっ、ちゅうつ……。

ふう、ちゅっ、ちゅうつ……。

ふう……。

先輩、いつもより興奮してます……？

抱きしめられたままだから、ドクドクが直接伝わってきて……。

ん……。

私も、いやな感じじゃないです……。

それに、それ……。

おちんちん、おっきくなっちゃってますね。

(軽くキスが触れ合う程度のキス)

んっ……。

んちゅっ、ちゅうっ、ちゅっ、ちゅうっ……。

ふう……。はぁ……。

(近い距離で見つめながら)

んふ、しますか……？

(向き合う体勢に戻る)

【位置：中 距離：近】

……うん。わかりました。

それじゃ、ズボン脱がせますね……。

SE:ズボンを脱がせる音

んっ……。

んっ、んっ……。

んっ、ふう……。

んふ、突き破るみたいな勢いで出てきました、先輩のおちんぽ……。

キス、そんなに好きなんですね。

ちゅっ……。ちゅっ……。

ふふ、私も下脱ぎます……。

SE:下着を脱ぐ音

んっ……。

ん、ん……。

……あはは。

糸ひいちゃってますね、私のおまんこ。

ドクドクが、胸にあたってたせいです……。

……ん。

えっと、今日はこのまま、この上に乗りますね……。

そしたら先輩が好きなキスもできるでしょうし……。

(ゆっくりまたがりながら)

……はい、失礼します。

(対面騎乗位で向き合う形に)

【位置：中 距離・密着】

こう、ですかね……。

重くはないですか？私の身体……。

(静かめなトーンでゆっくり)

はは、ありがとうございます。

先輩の太ももはちよっと、たくましいです。

顔もいつもより近くて……。

なんか、恥ずかしいですね……。

んっ……。

それじゃあ……。

このまま、入れますね。

おちんちん、私の中に……。

S.D.挿入

(少し力んだような感じで)

んっ……。

んっ、んんんっ……。

んう……ふう……はぁ……。

(深く呼吸しながら)

来ました……。

はぁ……はぁ……。

もう私の中、おちんぽに慣れてしまったみたいです……。

少し腰を下ろしただけで、一気に奥まで……。

んっ、んっ、ふう……。

先輩も感じますか？

子宮の奥の感覚……。

はぁ、はぁ……。

ふふっ、良かったです。

動きますね……。

このまま、上下に……。

S.D.ピストン開始 やや早め

※ 最初からやや早めで食るような騎乗位

ん……

んっ、んっ、っ、はぁ、んっ、んっ、んっ、んっ、んっ、んんん……っ。

っ、ふう……。

（慣れない動きにぎこちなさを感じながらも貪るように）

ちゃんと動けてますか……？

こんな動き、初めてなので……。

まだちよつと難しいですけど……。

んっ、ふう……。

先輩の太ももに、私のお尻をうちつけるみたいな動き……。

んっ、んっ、っ、んっ、んっ、ふう……。

んふ、目の前に、感じてる顔……。

ふう、はぁ……。

んっ、んっ、っ、んっ、んっ、っ、ふう……。

すみません先輩……。

いきなり、激しく……っ。

んっ、んっ……。

私のおまんこ使って、出し入れする度に、

そうやって声出してくれるのが、癖になってしまったみたいで……。

んっ、んっ、っ、んっ、んっ、ふう……。

はぁ、はぁ……。

これ、あの時みたいですね……。

空き教室で、先輩と初めてした時……。

んっ、っ、ふう……。

（少しからかうような表情を見せながら）

初めてだったのに、急に激しく突いてきて……。

私を気持ちよくさせたかった、とか……。

童貞だったのに、生意気な腰振り……。

っ、ふう……はぁ……。

今、その先輩と同じになってます……。  
もっと、気持ちよくなってくださいね……。  
慣れない腰振り、頑張りますので……。

んっ、んっ、っ、ふう、っ、んっ、んっ、ふう……。

私も、ちゃんと気持ちいいですよ……。

おちんぽが、中をえぐってきて……。

熱さとか、さきっぱの形とか……

身体、のぼせるみたいです……。。

んっ、んっ、っ、んっ、んっ、ふう……。。

んふ、今、私の中でまたびくってはねました……。

やっぱり、私を感じてる姿、好きですよね……。

んっ、んっ、ふう、はぁ……。。

バレてるに決まっています……。

すぐ顔に出るので……。

ほら、また……。

んっ、ふう……。

わたしたち、嘘つき同士ですね……。

(じわじわと込み上げる気持ちよさを感じながら)

んっ、んっ、っ、ふう、はぁ……っ。

気持ちいいですよ……。

先輩のおちんぽで私、気持ちよく、なっちゃってます……。

おまんこの中、もうとろとろで……。

気持ちいいです……。

(やや激しめ)

んっ、あっ、っ、あっ、んっ、ふう、ふう……。  
だめ、私もう……。

気持ち良いって言ったら、身体止まらなくて……。  
おかしくなりそうです……。

んっ、んあっ、あっ、っ、んっ、っ、ふう、んっ、んっ……。  
っ、ふう、ふう……。

すみません、先輩を感じさせるつもりが、  
私だけ……っ。  
いれたばかりなのに、こんな……。

(イクのを我慢するように「ふう」と力を込める)

んっ、はあ、んっ、ふうっ、んっ、ふう、んっ、ふう、はあ、はあ、はああ……。  
ごめんなさい……っ。

(我慢するように主人公に抱きつく)

【位置：左 距離：密着】

(力を込めた状態からいったあとは気が抜けたような声で「はあ、はあ………」と漏らす)

っ、ふう、はあ……。  
んっ、んっ、ふう、ふう、っ、んあっ、あっ、ふう、んっ、んっ、んんっ、んんっ……。  
っ、はああ、はあ……ふう、はあ、はあ、はああ……。

イってしまいました……。  
私だけ、先に……。  
っ、ふう……。  
脚も、ガクガク震えちゃって……。  
ふう、はあ……。

(再び先程の位置に戻る)

【位置：やや左 距離：密着】

(自嘲するような感じを漏らしながら呼吸を整える)

もう、だめですね……。

先輩を気持ちよくさせたかったのに……。

はあ、はあ……。

えっと、上下には動けないので、このまま前後に揺らしますね……。

んっ、っ、ふう……。

それでも、おちんぽ気持ちいいですか……？

(脱力しきったような声で)

ふふ、なら良かったです。

っ、ふう……。

あの……。

(キスの位置に)

【位置：中 距離：密着】

(身体の熱を求めるようなベロチュー)

んっ……。

んちゅ……んちゅ、えろ、えろ……ちゅう、えろえろ、えろ、れろ……。

んちゅうゅ、んちゅ、ちゅう、れろ、れろ……。

ん、はあ……。

先輩の好きな、キスです……。

これなら、おまんこ激しくしなくても、もっと気持ちいいですよね……？

んっ、んっ……。

(「恥ずかしい」という気持ちは初めてで不思議に思う)

あと……。身体震わせてるの、見られるの、恥ずかしいので……。

(かなり甘めで)

だから先輩……。

舌、出してください……。

【位置：中 距離・密着】

(ゆっくりねっとり舌を絡ませあうキス)

んっ……。

んちゅ……んちゅ、んちゅ、えろえろ……えろ、えろ……。

ちゅうつ、んちゅつ、んちゅつ……はぁ、ちゅうつ、えろ、えろ、えろ……。

ん、はぁ……。

※ここから先はゆっくり甘えた声で、身体を主人公に預けるようしながら前後に腰を揺らす。

これ、さつきより温かいですね……。

おちんぼが震える度に、私達の吐息が混じって……。

っ、はぁ、はぁ……。

んふ、気持ちよさそうな顔……。

ちゅつ、んちゅつ、ちゅうつ……。

ねえ先輩……。覚えてますか……？

あの空き教室でしたとき、

「初めての価値が分からないから………」と言ったの……。

んっ、んっ、ふう……。

んふ、そうですか……。

大事そうに、何回も確認してましたもんね……。

んっ……。

あの時は、こういうの、えっちなことではかないと思ってたので……。  
すること以外はなにも、考えてませんでした……。

んっ、あっ、んっ、ふう……。

でも、それが先輩でよかったって、今は思います……。

感じてる顔とか、好きなこととか……。

んっ、っ……。

あと、たまに優しかったりすること……。

っ、はぁ、はぁ……。

見てると、もっと気持ちよくなってるほしい、もっと知りたいって思えて……。

んちゅっ、ちゅっ、ちゅっ……。

(ここだけ腰を揺らすのを止め、見つめ合いながらゆっくり)

だから、先輩で良かったです……。

(照れ隠しから顔を塞ぐようなキス)

んっ……。

んちゅ……んちゅ、んちゅ、ちゅう、ちゅう、んちゅ、んちゅ、ちゅう、ちゅう、んちゅ、んちゅ、ちゅう、  
えろ、えろ、えろ……。

ん、はぁ……はぁ……。

先輩は、私でも大丈夫でした……？

かなり今更ですけど……。

急に押しかけて、それで、無理に協力してもらって……。

んっ、んっ、ふう……。

んふっ、良かったです……。

不思議ですよ……。

出会ったのはずっと前なのに、ちゃんと話したのは最近で……。

それで今……んっ、こんな、先輩の部屋で、えっちしてます……。

はぁ……はぁ……。

(前後にふる腰をやや早める)

不思議なのはそれだけじゃなくて……。

こうやって先輩の前だと、いつもいろんな感情になってしまつて……。

この前の、映画館のときもそうでしたけど……。

んっ……。

安心するのに、なぜかムカムカしてしまつたり……。

それに、ドキドキすることなんか、んっ、あつたり……。

んっ、っ、ふう……。

普段なら、上手く立ち回れているはず、なのに……。

また、昔みたいにならないように、取り繕つて……。

それ、なのに……。

あっ、んっ、んっ……。

一緒にいるだけで、それが全部、崩れてしまうみたいで……。

んっ、んっ、んっ、あっ、ふう……。

先輩も、同じですか……？

私といて、変な気持ちになつたり……。

んっ、ふう……。

んふっ、そうなんですね……。

良かったです、私だけじゃなくて……。

んっ、ふっ、ふう……。

じゃあ先輩、もっと教えて下さい……。

気持ち、変になつちやたら全部、私にぶつけていいですから……。

私も先輩に教えるので……。

私のしたいこととか、好きなこと……。

だから……。

※……まで

※……からは息を吸うのが強めの喘ぎでお願いします。

んっ、んあっ、あっ、んっ、っ、んっ、んっ……。

先輩……っ、いきなり、激しく……。

んっ……っ。

お尻掴まれて、さっきより奥まで……。

っ、はぁ、はぁ……。

大丈夫ですよ、もっと……。

先輩の気持ち、おまんこに刻みこんでください……。

んっ、んっ、んっ、ふう、ふう、んっ、ふう、ふう……。

ふふ、ぱんぱんって音、すごいです……。

んっ、っ、ふう……。

そうやって奥まで、突き入れると……

ふう、ヘッドもきこきこいって……。

っ、はぁ……はぁ……。

そんなに激しく、したいんですね……。

んふ、先輩のこと、わかります……。

っ、ふう……。

じゃあ私は、キスがしたいです……。

わたしもあれ、好きなので……。

(互いに求め合う激しいキス)

んっ……。

んちゅ……んちゅ、んちゅ、ちゅう、ちゅう、えろ、えろ、えるお……。

んちゅう、ちゅ、ちゅう、ちゅう、んえろ、えろ、えろ……。  
んちゅ、ちゅう……。

ん、はぁ……。

（キスの距離で）

んふっ、顔、近いです……。

わたしのこと、必死に犯してくる、先輩の顔……。

んちゅっ、ちゅっ、んっ、えろ、えろ……。

いつもは静かで、優しいのに……。

こんなに強く、求めてきて……。

っ、はぁ、はぁ……。

気持ちいいですよ、先輩……♡

※

※ここからオホ声が入ります、今まで力を入れていたのが一気に解放されるような。

（主人公と激しく抱きしめ合い耳元に移動）

【位置：右 距離：密着】

おっ、っ、ふう、はぁ……。

すみません、変な声……んっ、おっ♡出てちゃって……。

おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡ふうっ♡っ、ふう、はぁ……♡

んっ、すうっっ♡はぁ♡

はは、もう止まらないです……。

おっ♡っ、んっ♡力が抜けちゃって……。

こんな声、恥ずかしいのに……。

はぁ、はぁぁ♡もっと気持ちよへしてもらいたくて……。

(キスの位置に)

【位置：中 距離：密着】

(舌を絡めながらも呼吸が交じる)

んっ……。

えろえろ、えろ、ちゅうっ、んおっ♡ちゅう、ちゅう、はぁ、はぁあ♡  
ちゅう、ちゅうっ、はぁあ……♡

んっ、えあっ♡あっ♡っ、ふう、はぁ……♡

おちんぽも、気持ちよくなってるの、わかります……♡

んっ♡ふう♡

ぴくぴくっすると、私のおまんこも一緒に震えちゃうので……。

はぁ、はぁ……♡

おちんぽを離さないようにって、しめてる、おっ♡おまんこ……♡  
っ、ふう♡

キスと一緒に、私達の身体が同じになるみたいで……。

これも、好きです……♡

んっ……。

んちゅ……んちゅ、んちゅ、ちゅう、っはぁ♡はぁ♡ちゅうっ、んちゅう……。  
ちゅうっ、ちゅう、んちゅ、んちゅ、ちゅう、えろ、えろ、れろ……。  
んっ、はぁ……♡はぁ……♡

(オホ声を交えつつもゆっくりとした純愛ちっくな雰囲気で)

あの……。

こんなことしながら言うの、おっ♡ふう♡

っ、はぁ、はぁ♡

変だとは思いますが……。

私、先輩のこと、好きだと思います……。

多分、よく、分からないけど……。

好きって、自信はあります……。

おっ♡んっ♡

えっちのことだけじゃ、ないです……。

それも、っん♡好きですけど……。

んっ♡ふう♡

んあっ♡んっ♡♡ふう、ふう……♡

だって、こんなに乱されてるのに、すぐ落ち着いて……。

先輩も、私と一緒にいると……。

んっ、はあ♡はあ♡

気持ちがおかしくなるっていつてくれたから……♡

おっ♡んおっ♡

あの映画みたいな、綺麗な告白じゃないですけど……。

はあ、はあ♡

先輩、好きですよ……♡

※

※ここからラストスパートにかけ喘ぎをやや強めで

んおっ♡おっ♡っ、ふう♡ふう♡

ふふ、またおちんぼ震えて……。

嬉しいです……♡

んっ、んっ……♡

でも、同じ気持ちだったら、口でも言ってほしいです……。

私のこと、好きだって……♡

……んふ、先輩♡

(最後のキスなので激しめで)

んっ……。

んちゅ……んちゅう、んちゅ、ちゅう、ちゅう、えろ、えろ……。

んちゅ、ちゅう、ちゅうっ、んちゅ、んちゅ、ちゅう、ちゅう……。

んっ、はぁ……♡はぁぁ♡

(最後は再び強く抱きしめたままイッ)

【位置：右 距離：密着】

そろそろイキそうですか……っ。

んっ♡っ、ふう……。

ぴくぴく、すいじいじいになってます……。

それにお口の中もあたたかい……。

んっ、んぁっ♡んおっ♡おっ♡すっ、ふう……♡

よかったです……。

今度は一緒にイけそうですね、このまま……。

好きな先輩と……おっ♡一つになっただけ……♡

あっ♡んぁっ♡っ、おっ♡んっ♡すっ♡ふう♡

はい、私もイっちゃいそうです……♡

出してください先輩、んっ♡んぁっ♡私の中……。

んおっ♡んっ♡っ、んっ♡ふう♡ふう♡おっ♡おっ♡あ、えぁっ♡あっ♡っ、んっ♡  
んっ、んんんん……っ♡

SE:射精

っ※っっもっ

(呼吸を整えながら)

ん…………♡えあ…………♡

はあ、あ…………♡

ん…………♡

出てます、先輩…………♡

子宮の中、ぴゅうつぴゅうつて…………。

はあ、はあ…………♡

んっ、まだ…………。

ん、ん、ふう、ふう、ふう…………♡

【位置：中 距離：密着】

（射精を感じながら甘いキス）

ん…………

んちゅ…………んちゅ…………んちゅ、ちゅうつ…………ちゅうつ…………♡

はあ…………♡はあ、はああ…………♡

（余韻を感じながら）

お腹の中、いっぱいになってしまいました…………♡

気持ちよかったですか？

おまんこの一番奥…………♡

ふう、はああ…………♡

んふ、私もです…………。

ん、はあ…………。

まだ、こうしてたいです…………。

その顔も、おちんぽも、感じたまま…………

つながったままで…………♡

（優しい顔で見つめる）

ん、ふう…………。

んふ、好きですよ。

先輩もですか……？

……はは。なんか、照れちゃいますね。

冷静になってその言葉聞くと。

仕返しです。

先輩、好き、好きです……♡

(好きと言われるのがじれったそうにでも嬉しそうに)

んっ、また……。

意地悪ですね……？

はあ……はあ……。

でも、良かったです。

先輩にそう言ってもらえて。

(ここは甘めながらも真剣なトーンで)

……はい。

なんか、ずっと宙に浮いてたのが、

好きって言ってもらえるだけで解消されるような気がして。

虚勢を張るために協力してもらってたのに、

いつの間にか、それよりも先輩のことに興味が出て。

今ではこうやって、ありのままの自分を許せる気がします……。

先輩が好きな、私のこと……。

(真剣なトーンから変わって甘く微笑むように)

ありがとうございます、先輩。

(唇だけを重ねる甘いキス)

ん……

んちゅ……んちゅ……んちゅ……ちゅう……ちゅう……。

んふっ。

先輩のこと、もっと知りたいです……。

いっぱい好きな部分、見つけたいです。

……うん。

もう少し休んだら、教えて下さいね♡